

# 令和元年

平成31年1月1日～令和元年12月31日

## 火災・救急・救助 などの活動概況



©稲沢市いなッピー  
火の用心

### 稲沢市消防本部

# 目 次

稲沢市管内概要 .....	1
緊急出動概況 .....	2
119番受信概況 .....	4
訓練指導及び調査概況 .....	5
予防概況 .....	7

## **火災**

火災概況 .....	10
年別出火件数・年別損害額 .....	11
署別出火件数・月別出火件数 .....	12
曜日別出火件数・時間別出火件数 .....	13
火災による死傷者数 .....	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移 .....	15

## **救急**

救急概況 .....	16
種別ごとの救急出場件数 .....	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数 .....	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員 .....	19
傷病程度別搬送人員 .....	20
収容所要時間別搬送人員 .....	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員 .....	22

## **救助**

救助概況 .....	23
------------	----

# 稲沢市管内概要

## 面積・人口・世帯数

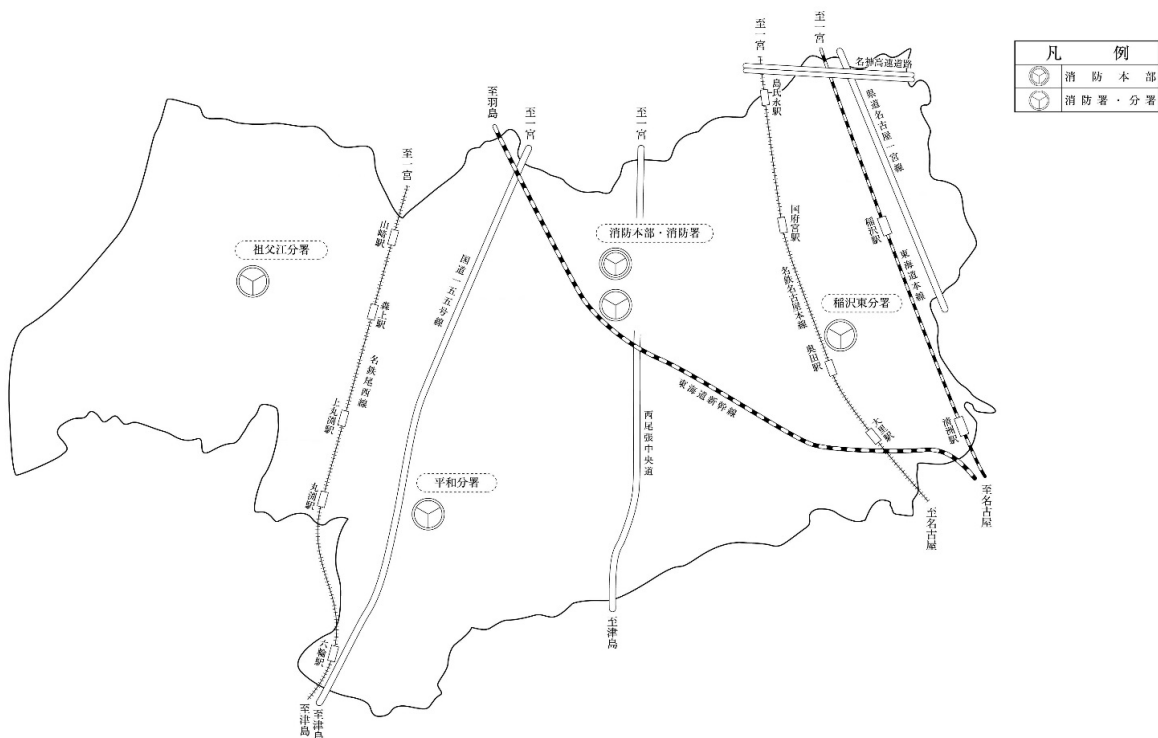
令和2年1月1日現在

区 分	面積(k m <sup>2</sup> )	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲 沢 市	79.35	67,855	68,847	136,702	55,026

## 消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名 称	所 在 地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

## 消防本部・消防署配置図



## 緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり7,908件で、前年と比較して78件増加している。

1日当たりの平均出動件数は約22件となっている。

火災、救急及び救助出動以外に1,363件の緊急出動をしている。緊急出動を種別にみると、救急出場が6,316件(79.9%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,172件(14.9%)、警戒出動が191件(2.4%)の順となっている。

**第1表 緊急出動状況 (件)**

種別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率(%)
署別								
本署	平成30年	47	1,799	80	72	327	2,325	29.7
	令和元年	36	1,589	70	72	339	2,106	26.6
稲沢東分署	平成30年	22	2,524	33	56	437	3,072	39.2
	令和元年	26	2,831	30	47	495	3,429	43.4
祖父江分署	平成30年	25	995	7	35	165	1,227	15.7
	令和元年	16	887	12	40	152	1,107	14.0
平和分署	平成30年	23	920	16	54	193	1,206	15.4
	令和元年	21	1,009	18	32	186	1,266	16.0
合計	平成30年	117	6,238	136	217	1,122	7,830	100
	比率(%)	1.5	79.7	1.7	2.8	14.3		
	令和元年	99	6,316	130	191	1,172	7,908	100
	比率(%)	1.2	79.9	1.6	2.4	14.9		

(注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。

2 「救急支援出動」とは、119番通報時に心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要なときに出動するものをいう。

緊急出動件数を月別にみると、第2表のとおり年間を通じて平均的に出動している。

火災、救急及び救助出動以外は、救急支援出動は月平均で約98件、警戒出動は月平均で約16件出動している。

第2表 月別緊急出動状況

(件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	4	2	3	4	6	3	2	0	3	1	4	4	36	99
	稲沢東分署	2	1	3	3	5	3	2	0	5	1	1	0	26	
	祖父江分署	3	2	2	1	2	2	0	0	1	0	3	0	16	
	平和分署	1	2	0	1	5	1	2	1	2	1	2	3	21	
	小計	10	7	8	9	18	9	6	1	11	3	10	7	99	
救急	本署	163	127	113	135	127	132	144	126	123	117	141	141	1,589	6,316
	稲沢東分署	270	235	241	210	217	223	244	230	220	223	233	285	2,831	
	祖父江分署	94	76	60	72	73	60	83	87	70	78	64	70	887	
	平和分署	90	86	95	85	78	78	90	78	79	77	89	84	1,009	
	小計	617	524	509	502	495	493	561	521	492	495	527	580	6,316	
救助	本署	8	7	3	9	9	4	2	4	6	8	4	6	70	130
	稲沢東分署	5	2	1	4	4	0	0	1	4	3	3	3	30	
	祖父江分署	0	2	1	1	1	2	1	2	1	1	0	0	12	
	平和分署	0	2	1	3	4	1	2	0	2	2	0	1	18	
	小計	13	13	6	17	18	7	5	7	13	14	7	10	130	
警戒	本署	5	6	2	9	6	7	8	9	6	5	5	4	72	191
	稲沢東分署	4	1	2	4	0	4	3	7	5	5	4	8	47	
	祖父江分署	6	3	4	2	3	2	2	3	2	3	5	5	40	
	平和分署	2	2	2	1	3	2	2	2	1	4	3	8	32	
	小計	17	12	10	16	12	15	15	21	14	17	17	25	191	
救急支援	本署	47	30	29	20	20	25	26	25	28	20	29	40	339	1,172
	稲沢東分署	51	46	48	38	33	42	28	40	27	51	41	50	495	
	祖父江分署	16	13	12	14	6	7	11	12	11	26	12	12	152	
	平和分署	16	19	13	16	12	9	20	12	21	19	18	11	186	
	小計	130	108	102	88	71	83	85	89	87	116	100	113	1,172	
合計		787	664	635	632	614	607	672	639	617	645	661	735	7,908	

# 119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり8,339件で、前年と比較して51件減少している。1日当たりの平均受信件数は22.8件で前年より0.1件減少している。減少した理由としては、救急件数は増加しているが救急以外の件数が昨年より減少したためである。

119番受信区分では、固定電話が4,628件で55.5%、携帯電話が3,711件で44.5%となっている。

第1表 119番受信状況 (件)

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
平成29年	固定電話	18	3,441	12	1,144	4,615
	携帯電話	82	2,272	50	856	3,260
	合計	100	5,713	62	2,000	7,875
平成30年	固定電話	39	3,467	15	1,254	4,775
	携帯電話	100	2,608	59	848	3,615
	合計	139	6,075	74	2,102	8,390
令和元年	固定電話	26	3,455	16	1,131	4,628
	携帯電話	65	2,658	43	945	3,711
	合計	91	6,113	59	2,076	8,339

(注) 「その他」は、警戒、調査、訓練通報、いたずら、病院問い合わせ等

## 訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計2,022件で、前年と比較して110件増加している。

訓練指導及び調査件数を種別にみると、80歳以上の1人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火査察を1,091戸(54.0%)実施しており、次いで地理水利調査が267件(13.2%)、消防団訓練指導が196件(9.7%)の順となっている。

自主防災会、事業所及び教育機関については、合計334団体(16.5%)に対して訓練指導を実施している。

第1表 訓練指導及び調査状況 (件)

種別 署別		消防団 訓練指導	自主防 災会訓 練指導	事業所 訓練指導	教育機 関訓練指導	普通救 命講習会	消防署 見学	住宅防 火査察	地理水 利調査	枯草調 査	はしご 車接梯 調査	合計	比率 (%)
本署	平成30年	75	30	48	45	65	19	346	67	4	1	700	36.6
	令和元年	42	33	44	48	60	16	345	60	4	1	653	32.3
稲沢東分署	平成30年	40	32	49	17	20	3	374	100	2	1	638	33.3
	令和元年	82	31	62	19	23	5	415	73	2	1	713	35.3
祖父江分署	平成30年	33	7	14	14	5	0	147	62	2	0	284	14.9
	令和元年	45	6	13	13	4	0	181	71	7	0	340	16.8
平和分署	平成30年	28	19	34	14	9	3	123	59	1	0	290	15.2
	令和元年	27	14	37	14	6	3	150	63	1	1	316	15.6
合計	平成30年	176	88	145	90	99	25	990	288	9	2	1,912	100
	比率(%)	9.2	4.6	7.6	4.7	5.2	1.2	51.8	15.1	0.5	0.1		
	令和元年	196	84	156	94	93	24	1,091	267	14	3	2,022	100
	比率(%)	9.7	4.2	7.7	4.6	4.6	1.2	54.0	13.2	0.7	0.1		

- (注) 1 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。  
 2 住宅防火査察の数値については、調査した戸数をいう。  
 3 住宅防火査察は80歳以上の1人暮らしの高齢者を対象としている。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。事業所訓練指導、教育機関訓練指導、普通救命講習会及び地理水利調査は、年間を通して実施している。消防団訓練指導は、ポンプ車操法指導の関係で4月及び5月に、自主防災会訓練指導は、防災訓練等の関係で9月から11月に集中的に実施している。

住宅防火査察及び枯草調査は、各目的に応じて実施しているため、実施月に偏りが生じている。

**第2表 月別訓練指導及び調査状況**

(件)

種別・署別		月別												小計	合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消防団 訓練指導	本署	0	0	0	25	17	0	0	0	0	0	0	0	0	42	196
	稲沢東分署	0	0	0	33	20	15	14	0	0	0	0	0	0	82	
	祖父江分署	0	0	0	33	10	1	0	1	0	0	0	0	0	45	
	平和分署	0	0	0	22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	27	
	小計	0	0	0	113	52	16	14	1	0	0	0	0	0	196	
自主防災会 訓練指導	本署	1	1	4	2	1	1	2	2	1	7	9	2	33	84	
	稲沢東分署	1	1	2	0	2	2	0	2	7	6	6	2	31		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	0	6		
	平和分署	0	0	1	0	2	0	1	0	1	4	3	2	14		
	小計	2	2	7	2	5	4	3	4	10	18	21	6	84		
事業所 訓練指導	本署	0	2	3	1	3	9	6	1	4	2	9	4	44	156	
	稲沢東分署	4	3	7	2	5	4	3	5	3	12	11	3	62		
	祖父江分署	1	1	2	0	1	2	2	0	1	1	1	1	13		
	平和分署	0	2	1	3	3	9	2	1	4	5	6	1	37		
	小計	5	8	13	6	12	24	13	7	12	20	27	9	156		
教育機関 訓練指導	本署	2	0	5	4	10	11	2	0	2	8	3	1	48	94	
	稲沢東分署	0	0	0	1	3	0	3	0	0	8	2	2	19		
	祖父江分署	0	0	0	0	1	4	0	1	0	2	5	0	13		
	平和分署	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	7	3	14		
	小計	3	0	7	5	14	16	5	1	2	18	17	6	94		
普通救命 講習会	本署	3	5	2	6	3	3	11	13	6	4	2	2	60	93	
	稲沢東分署	1	0	2	2	3	3	0	8	1	2	1	0	23		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	4		
	平和分署	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	6		
	小計	5	5	4	8	7	7	12	23	8	8	3	3	93		
消防署見学	本署	0	0	3	0	5	1	0	0	2	5	0	0	16	24	
	稲沢東分署	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	5		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平和分署	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3		
	小計	0	0	3	1	6	3	0	0	3	6	1	1	24		
住宅防火査察	本署	96	0	0	0	0	0	0	0	0	83	80	86	345	1,091	
	稲沢東分署	104	0	0	0	0	0	0	0	0	102	112	97	415		
	祖父江分署	38	0	0	0	0	0	0	0	0	65	41	37	181		
	平和分署	28	0	0	0	0	0	0	0	0	32	54	36	150		
	小計	266	0	0	0	0	0	0	0	0	282	287	256	1,091		
地理水利調査	本署	3	5	15	7	6	5	8	3	4	0	3	1	60	267	
	稲沢東分署	1	0	14	15	2	5	6	6	12	1	10	1	73		
	祖父江分署	3	9	6	4	8	5	3	15	8	5	5	0	71		
	平和分署	7	4	4	11	7	2	3	6	7	0	6	6	63		
	小計	14	18	39	37	23	17	20	30	31	6	24	8	267		
枯草調査	本署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	14	
	稲沢東分署	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2		
	祖父江分署	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7		
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	小計	5	1	0	1	0	0	0	2	0	0	3	2	14		
はしご車 接梯調査	本署	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	
	稲沢東分署	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平和分署	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
	小計	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3		
合計		301	34	73	173	119	89	67	68	66	358	383	291	2,022		



# 予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均13件であり、届出状況をみると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,737件（36.4%）次いで道路工事届出書が1,091件（22.9%）となっている。

**第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況**

届 出 項 目	件 数	比 率 (%)
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	137	2.9
消 防 用 設 備 等 ( 特 殊 消 防 用 設 備 等 ) 設 置 届 出 書	177	3.7
消 防 用 設 備 等 ( 特 殊 消 防 用 設 備 等 ) 点 検 結 果 報 告 書	1,737	36.4
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届 出 書	273	5.7
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届 出 書	303	6.3
道 路 工 事 届 出 書	1,091	22.9
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	646	13.5
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 設 備 設 置 届 出 書	34	0.7
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	22	0.5
催 物 開 催 届 出 書	6	0.1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	77	1.6
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	25	0.5
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	165	3.5
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	62	1.3
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	21	0.4
合 計	4,776	100

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。月平均で約16件の消防同意を実施している。区分別では新築が161件（86.6%）である。

第2表 区分別消防同意状況 (件)

区分	月別												合計	比率 (%)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	13	7	17	14	10	10	9	14	14	22	19	12	161	86.6
増 築	5	4	4			1	2	1	3	2	1	1	24	12.9
改 築													0	0
用 途 変 更	1												1	0.5
そ の 他													0	0
合 計	19	11	21	14	10	11	11	15	17	24	20	13	186	100

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況 (件)

消防用設備等	月別												合計	比率 (%)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 器 設 備	消 火 器	1	9	5	2	3	2	3		4	4	3	3	39	19.6
	屋 内 消 火 栓 設 備				1	1					1	1	3	7	3.5
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	1						1			1			3	1.5
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		2					1			1	1		5	2.5
	屋 外 消 火 栓 設 備			1		1							1	3	1.5
	泡 消 火 設 備		1											1	0.5
	粉 末 消 火 設 備													0	0
	ガ ス 消 火 設 備												1	1	0.5
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備													0	0
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	1	6	7	2	7	3	9	2	7	12	6	11	73	36.7
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	1			1	2	1		1				1	8	4.0
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備		1	2						3				6	3.0
	非 常 放 送 設 備		2	2					2		1	1	1	9	4.6
	漏 電 火 災 警 報 器		1											1	0.5
避 難 設 備	避 難 器 具	1					1	1			2	1	2	8	4.0
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	1	8	3		3	1	3		4	6	2	3	34	17.1
そ の 他	消 防 用 水		1											1	0.5
	連 結 送 水 管													0	0
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備													0	0
	排 煙 設 備													0	0
合 計	6	31	20	6	17	8	18	5	18	29	15	26	199	100	

危険物製造所等は291施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

**第4表 危険物製造所等の許可・届出状況** (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許 可	設 置		1			2		1				4	8	
	変 更		2			2		2		9		38	53	
仮 使 用 承 認			2			2				8		35	47	
完成検査	設 置		2	2		1		1				4	10	
	変 更		2			2		2		8		38	52	
予 防 規 程 認 可										1			1	
軽 微 な 工 事 届			1							16		41	58	
品名・数量・倍数変更届			4									4	8	
保安監督者選任・解任届			8	10		1				13		10	42	
廃 止 届			2		2	3				2		1	10	
合 計		0	24	12	2	13	0	6	0	57	0	0	175	289

# 火 災 概 況

火災の状況を前年と比較すると第1表のとおり、出火件数は48件で5件減少し、建物火災も7件減少しているが、損害額は増加している。

火災種別ごとでみると、建物火災及びその他の火災がそれぞれ20件で、全体の41.7%と最も高い割合であり、車両火災が8件で16.6%となっている。

**第1表 令和元年中の火災状況と前年との比較**

区 分	単 位	令和元年(A)	平成30年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	48	53	-5
建物火災		20	27	-7
車両火災		8	6	2
その他の火災		20	20	0
焼損棟数	棟	23	46	-23
全焼		2	9	-7
半焼		1	5	-4
部分焼		9	16	-7
ぼや		11	16	-5
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	850	2,206	-1,356
死者	人	2	1	1
負傷者		7	7	0
り災世帯	世帯	16	31	-15
り災人員	人	33	78	-45
損害額	千円	(※)472,344	179,358	(※)292,986
建物火災		(※)469,320	176,148	(※)293,172
車両火災		2,879	3,197	-318
その他の火災		145	13	132
出火率	%	3.5	3.9	-0.4

- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。  
 2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。  
 3 (※) 調査中のため、概数として計上する。

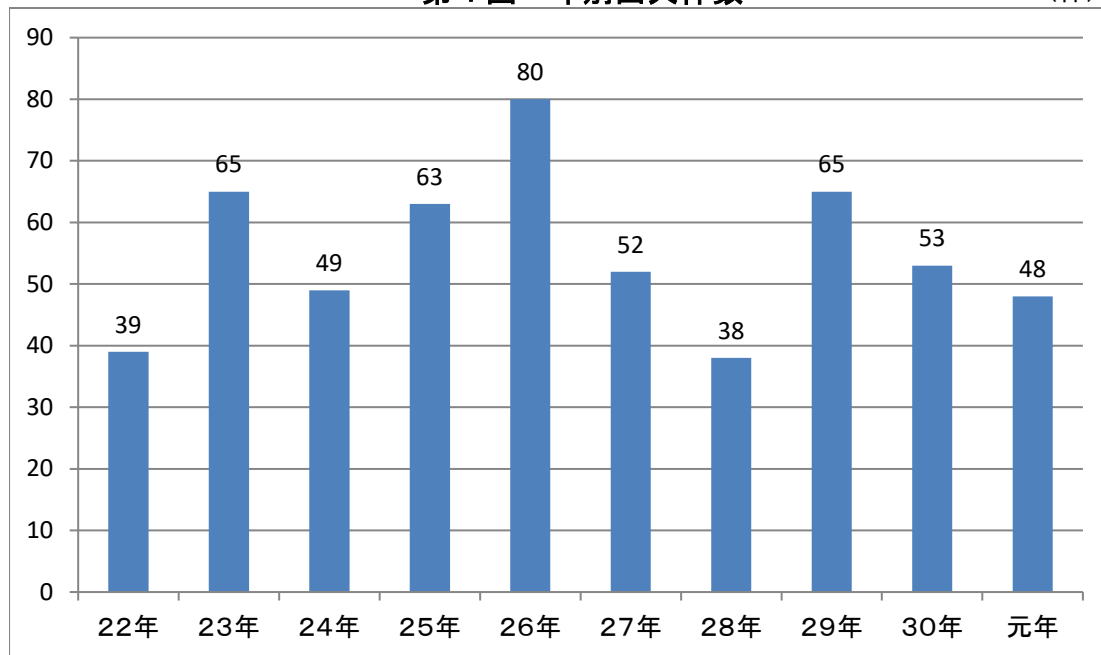
## 年別出火件数

過去10年間の出火件数をみると第1図のとおり、平成26年が80件と最も多くなっており、次いで平成29年は平成23年と同様に65件と多い件数である。

令和元年の1日当たりの出火件数は0.13件であり、約7.6日に1件の割合で火災が発生している。

第1図 年別出火件数

(件)

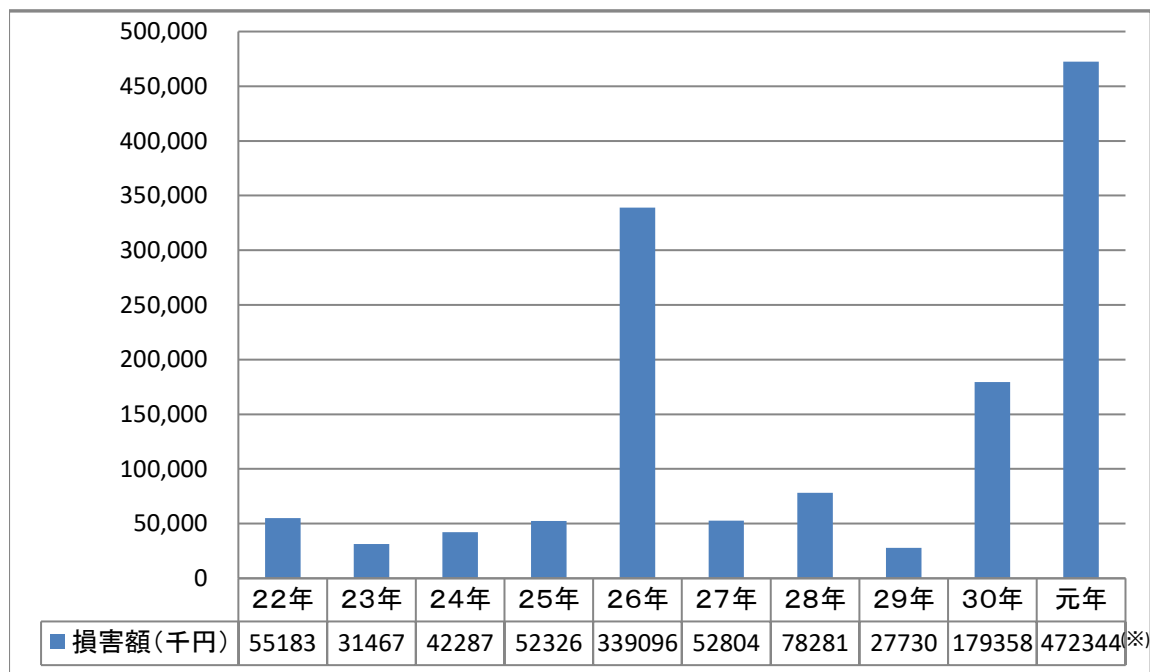


## 年別損害額

過去10年間の損害額をみると第2図のとおり、令和元年が472,344千円(※)と最も多く、次いで平成26年が339,096千円である。

また、令和元年の火災1件当たりの損害額は9,840.5千円となっており、過去10年間で最も多くなっている。

第2図 年別損害額



(注) (※)調査中のため、概数として計上する。

## 署別出火件数

出火件数の48件を署別にみると第2表のとおり、本署が16件と最も多く、次いで稲沢東分署の15件、祖父江分署の9件、平和分署の8件の順となっている。

署別出火件数を前年と比較すると、本署、祖父江分署及び平和分署で減少し、全体数についても、5件減少し、9.4%の減少率となっている。

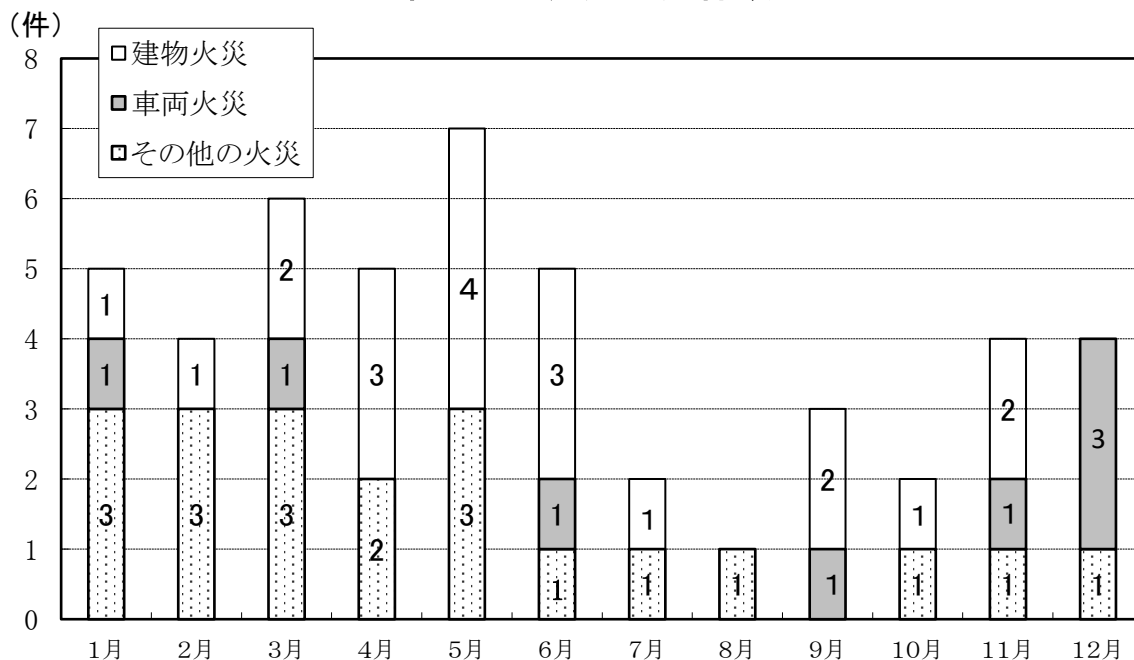
第2表 署別出火件数前年比較

	令和元年(A) 出火件数	平成30年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	16	19	-3	-15.8
稲沢東分署	15	10	5	50.0
祖父江分署	9	11	-2	-18.2
平和分署	8	13	-5	-38.5
合計	48	53	-5	-9.4

## 月別出火件数

出火件数の48件を月別にみると第3図のとおり、8月が1件と最も少なく、火災種別ごとにみると建物火災は5月が4件、車両火災は12月に3件と最も多くなっている。

第3図 月別出火件数

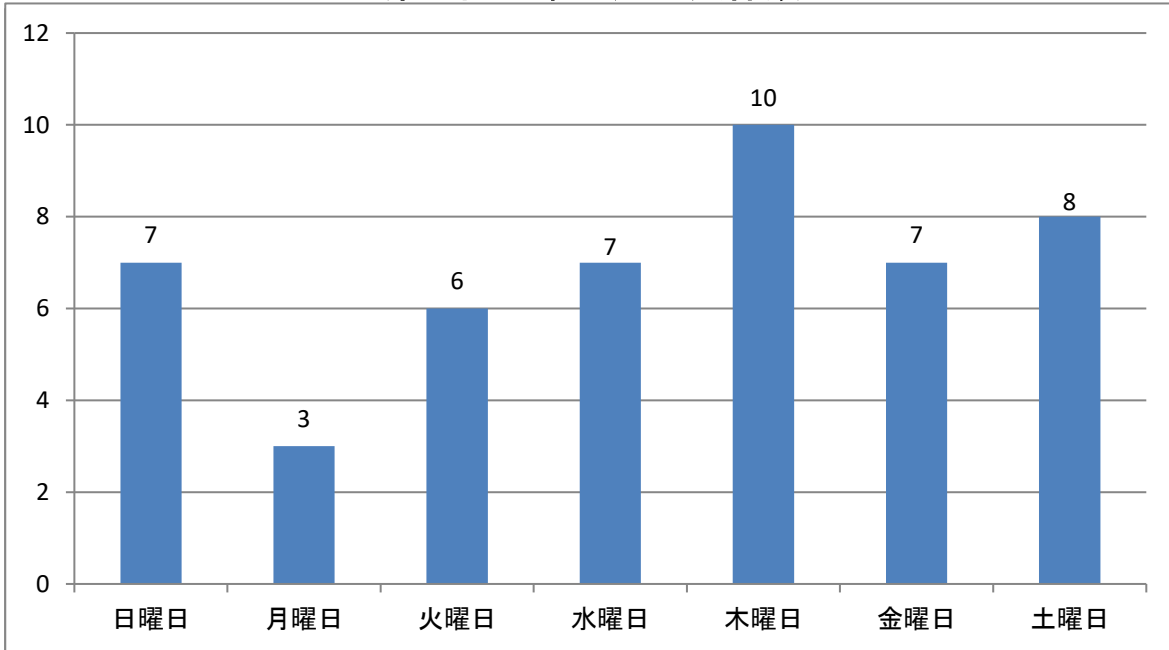


## 曜日別出火件数

出火件数の48件を曜日別にみると第4図のとおり、木曜日が10件と最も多く、次いで土曜日が8件となっている。

第4図 曜日別出火件数

(件)

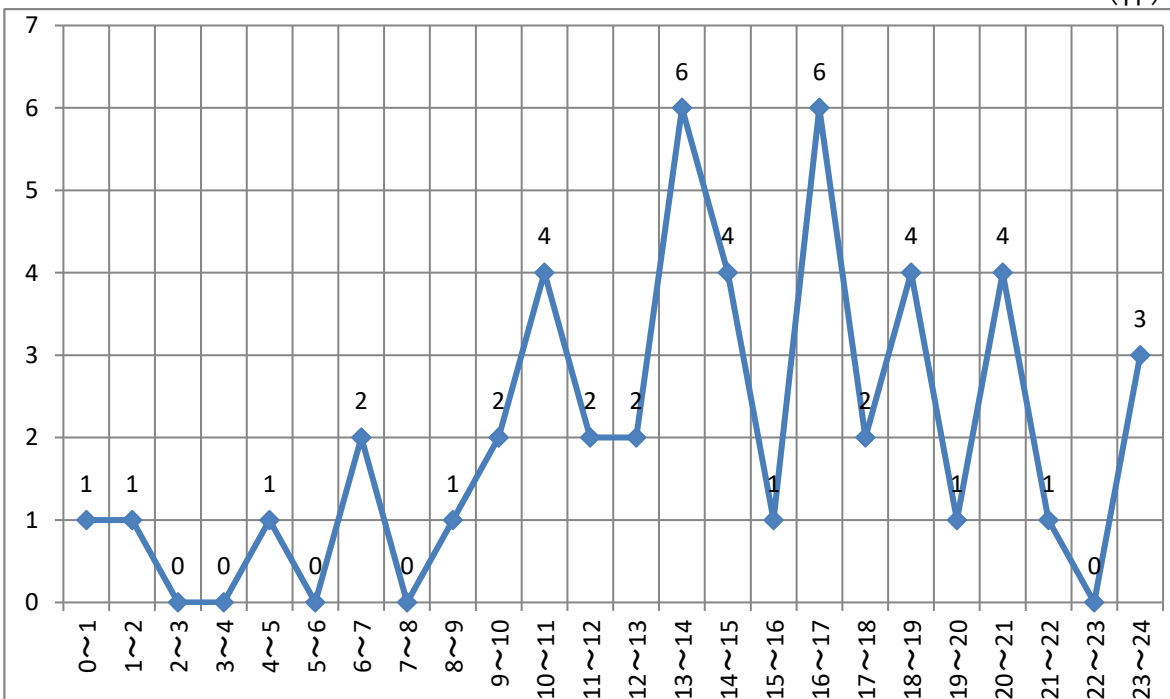


## 時間別出火件数

出火件数の48件を時間別にみると第5図のとおり、13時から14時まで及び16時から17時までが6件と最も多くなっている。

第5図 時間別出火件数

(件)



# 火災による死傷者数

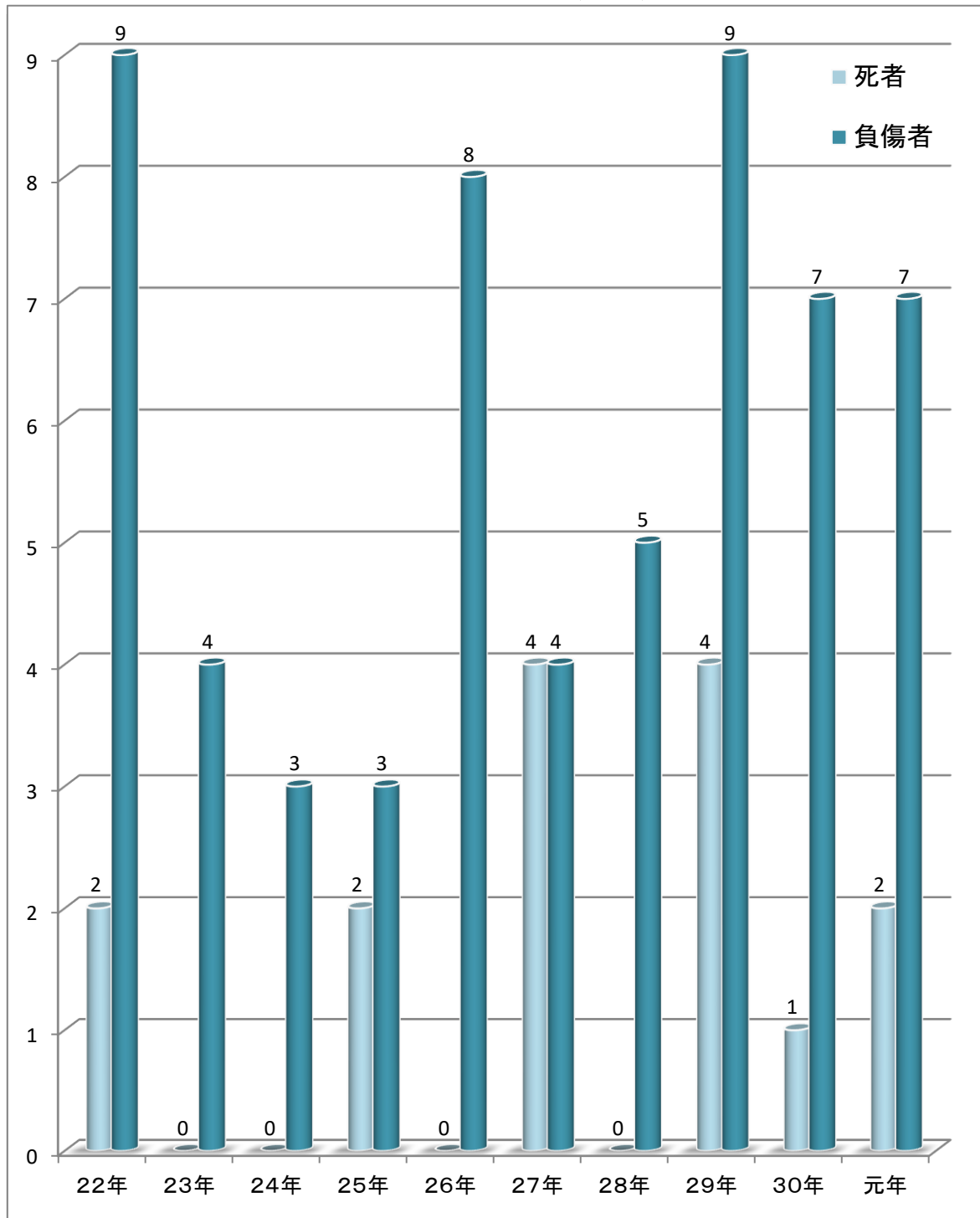
令和元年の火災による死傷者発生状況については、死者2人、負傷者7人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は平成27年及び平成29年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は平成22年及び平成29年が9人と最も多く、次いで平成26年の8人の順となっている。

第6図 年別死傷者数

(人)

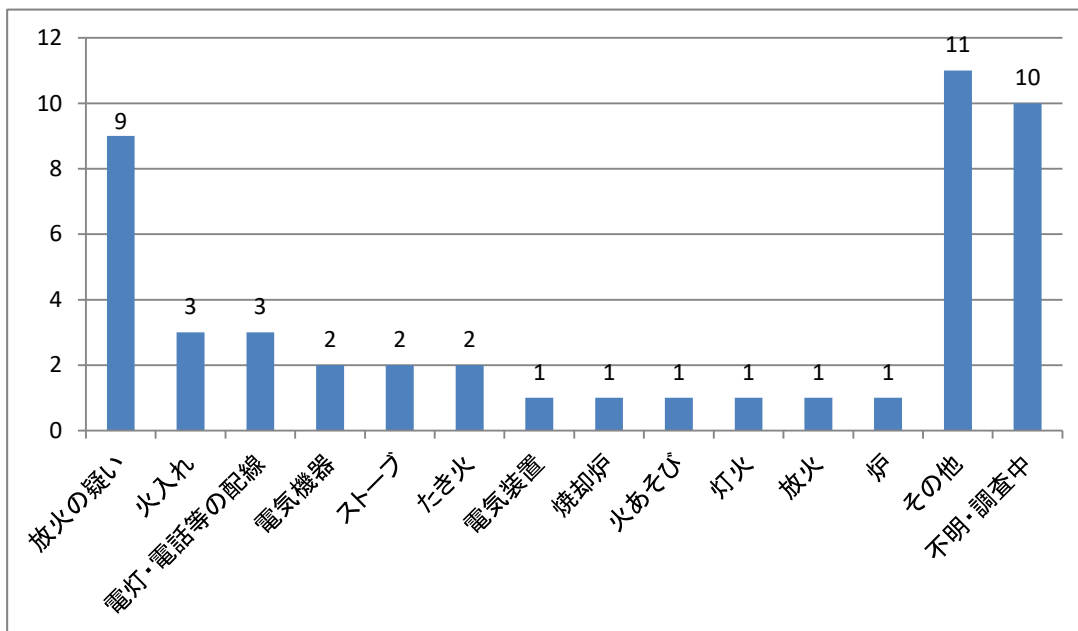




## 出火原因別出火件数

出火件数の48件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火の疑いによる火災が9件と多く発生し、全体の18.8%を占めている。

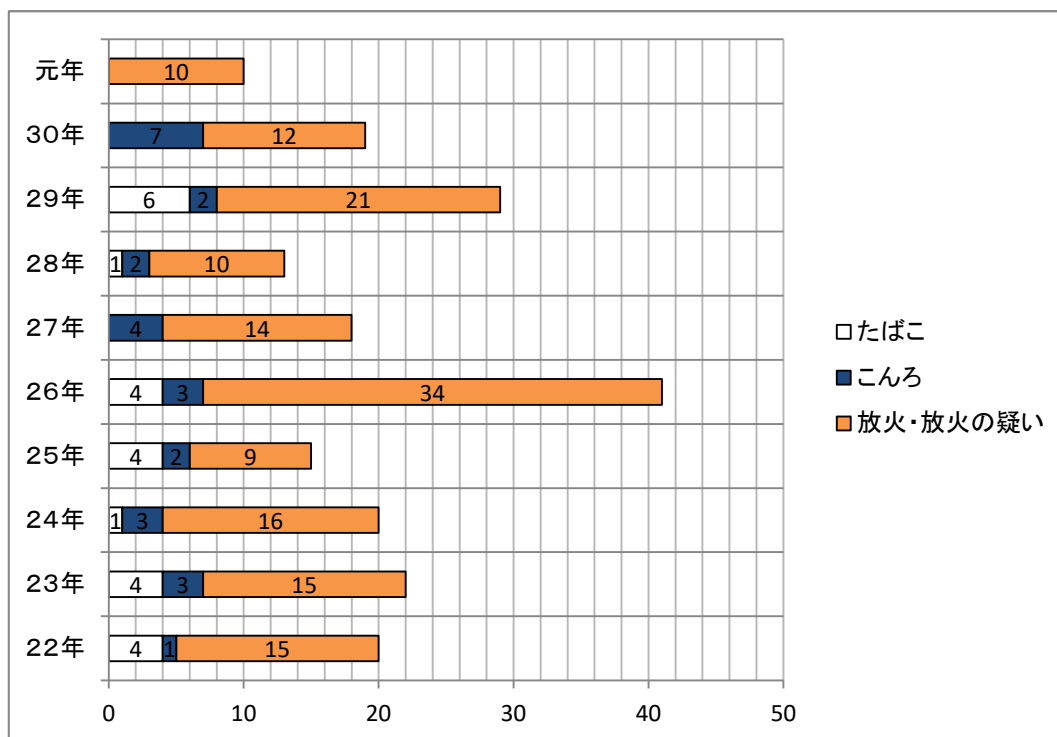
第7図 出火原因別出火件数 (件)



## 出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、平成22年以降放火・放火の疑いによるものが毎年上位を占め、平成26年が34件と最も多く、次いで平成29年の21件となっている。

第8図 出火原因の推移 (件)



# 救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は6,316件で前年と比較して78件増加している。1日当たりの平均出場件数は、約17件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は6,107人で前年と比較して101人増加している。

なお、当消防本部管内の住民約22人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

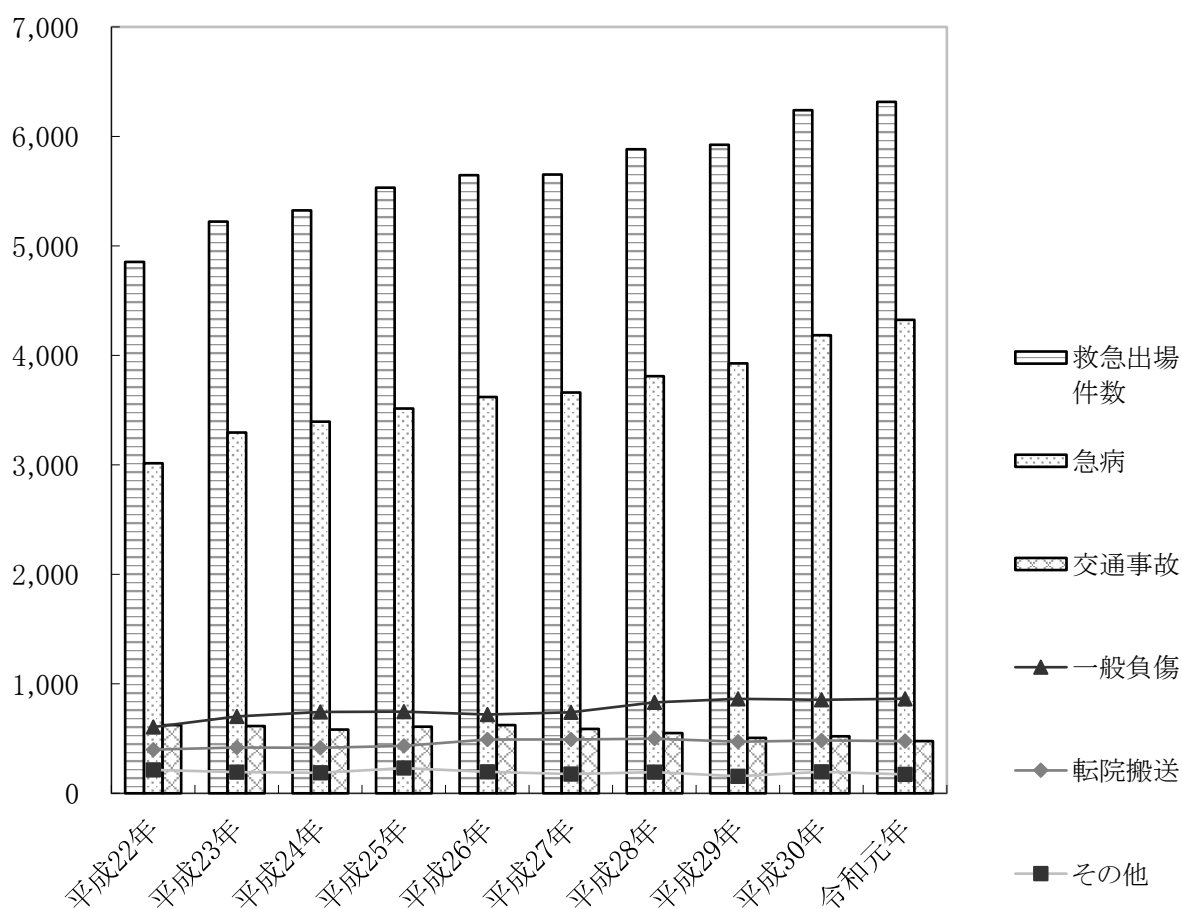
第1表 救急業務実施状況

事故種別 署別		火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	その	合	
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	計	
本署	平成30年	件数	16		1	166	20	9	240	3	14	1,244	86	1,799
		人員	3			178	20	10	234	3	11	1,175	87	1,721
	令和元年	件数	12			143	15	7	214	3	11	1,114	70	1,589
		人員	3			146	15	6	207	3	9	1,052	70	1,511
稲沢東分署	平成30年	件数	7			197	34	16	346	7	17	1,654	246	2,524
		人員	1			195	34	16	343	5	13	1,581	246	2,434
	令和元年	件数	11			205	32	12	385	6	22	1,914	244	2,831
		人員	3			212	32	12	381	6	21	1,845	244	2,756
祖父江分署	平成30年	件数			1	70	9	10	139	2	7	645	112	995
		人員				76	9	10	137	2	5	611	112	962
	令和元年	件数			1	58	4	4	120		10	590	100	887
		人員				61	4	4	119		7	571	100	866
平和分署	平成30年	件数	1			89	13	2	129		5	641	40	920
		人員				96	13	2	126		4	607	41	889
	令和元年	件数	2			72	10	4	145	1	7	705	63	1,009
		人員	1			79	10	4	142	1	5	669	63	974
合計	平成30年	件数	24	0	2	522	76	37	854	12	43	4,184	484	6,238
		人員	4	0	0	545	76	38	840	10	33	3,974	486	6,006
	令和元年	件数	25	0	1	478	61	27	864	10	50	4,323	477	6,316
		人員	7	0	0	498	61	26	849	10	42	4,137	477	6,107

# 種別ごとの救急出場件数

過去10年間の救急出場件数を種別ごとにみると、第1図及び第2表のとおり救急出場件数は増加傾向にあり、特に急病の出場件数が増加している。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

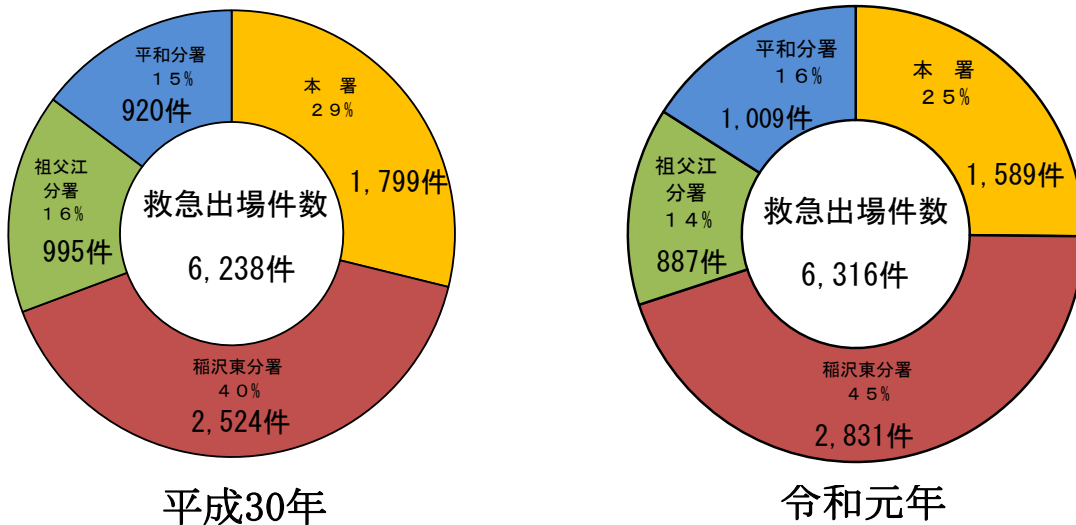
種別	年別									
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
救急出場件数	4,855	5,221	5,323	5,531	5,647	5,653	5,884	5,923	6,238	6,316
急病	3,014	3,294	3,396	3,514	3,621	3,661	3,810	3,928	4,184	4,323
交通事故	623	615	581	608	622	587	551	507	522	478
一般負傷	605	702	742	745	719	739	830	862	854	864
転院搬送	399	418	416	434	490	490	499	470	482	477
その他	214	192	188	230	195	176	194	156	196	174

## 署別救急出場件数

救急出場件数6,316件を署別にみると、第2図のとおり稲沢東分署が2,831件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

前年と比較すると、稲沢東分署は307件、平和分署は89件の増加、本署は210件、祖父江分署は108件の減少で、合計78件の増加となった。

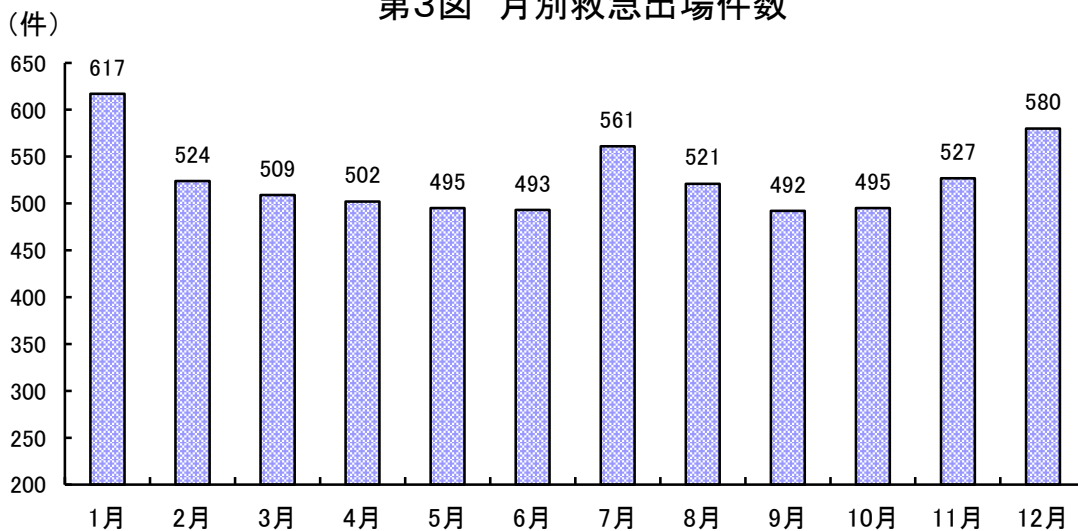
第2図 署別救急出場件数



## 月別救急出場件数

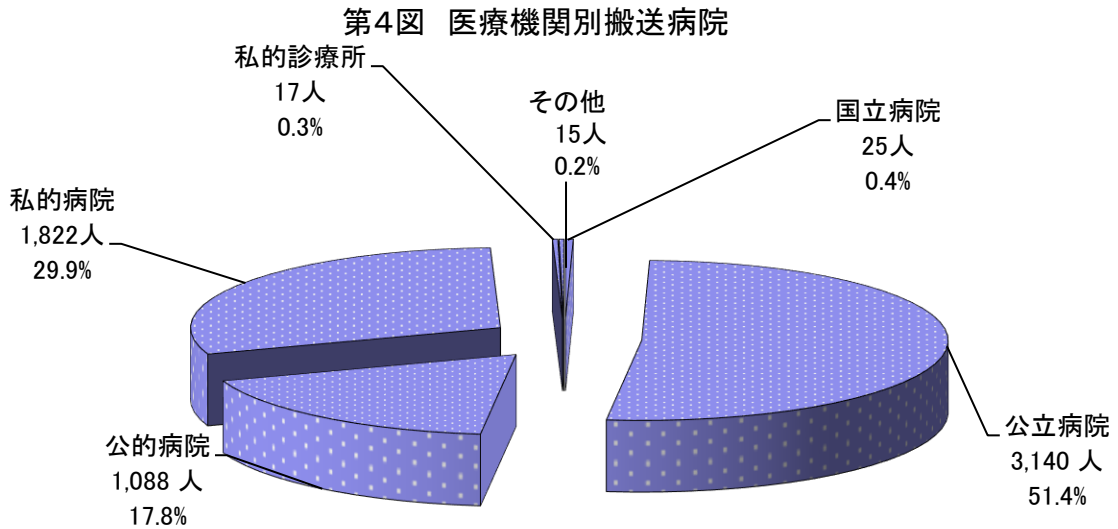
救急出場件数6,316件を月別にみると、第3図のとおり1月が617件と最も多く、次いで12月、7月の順となっている。最も少なかったのが9月の492件で、月平均にすると約526件となる。

第3図 月別救急出場件数



# 医療機関別搬送人員

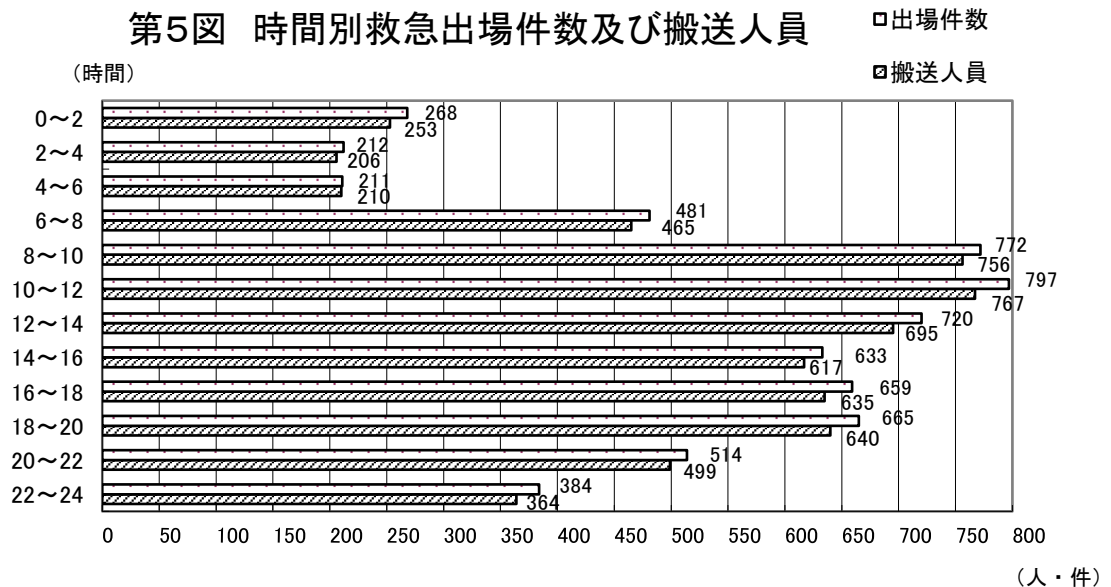
搬送された6,107人の搬送状況を医療機関別にみると、第4図のとおり公立病院が3,140人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。



# 時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数6,316件及び搬送人員6,107人を時間別にみると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が797件と最も多く、次いで8時から10時と12時から14時になっており、最も少ない時間帯は4時から6時の211件となっている。

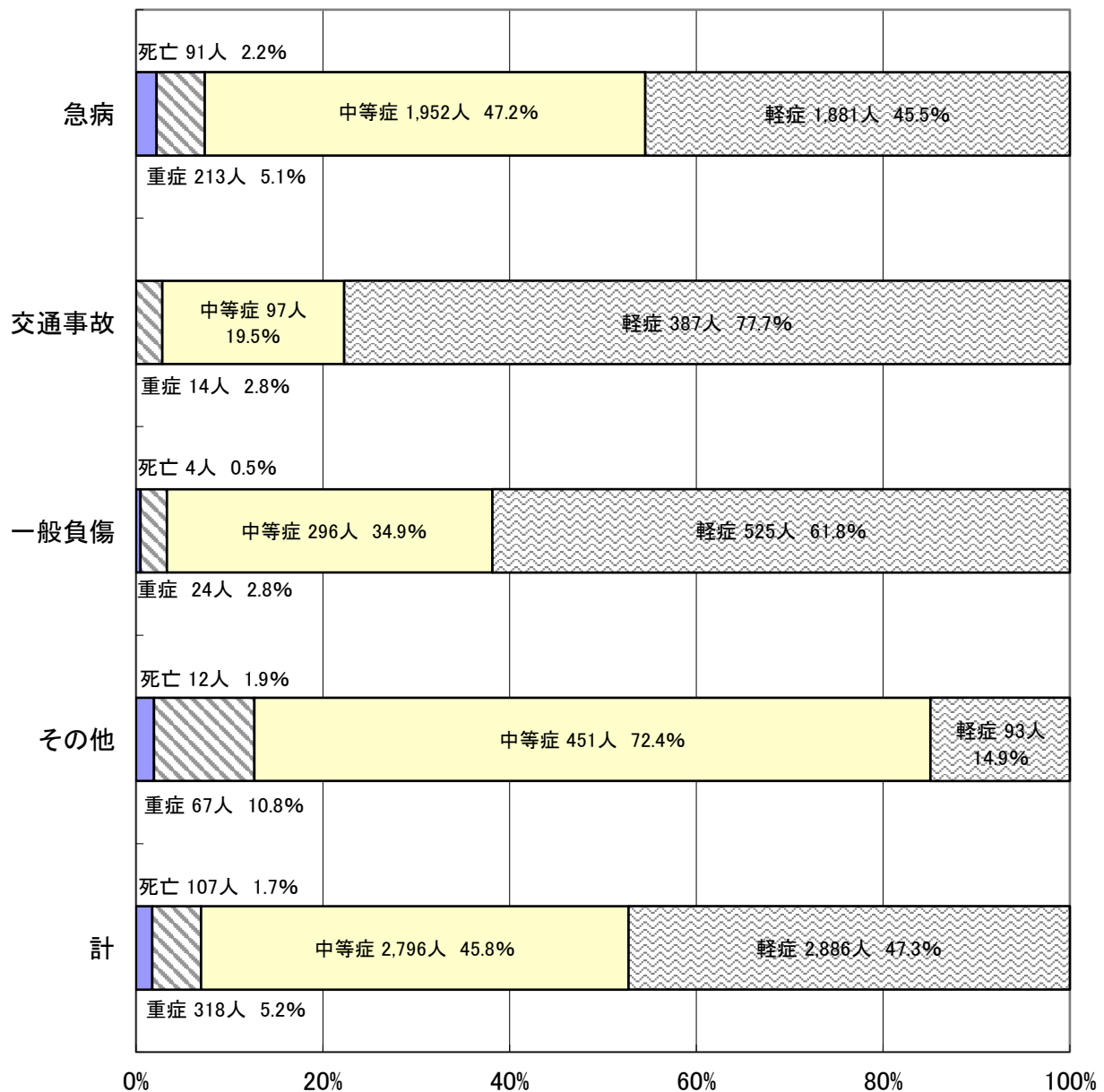


## 傷病程度別搬送人員

搬送人員 6,107 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、軽症が 2,886 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

事故種別による軽症割合は、交通事故が約 77.7% と最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第 6 図 傷病程度別搬送人員の状況

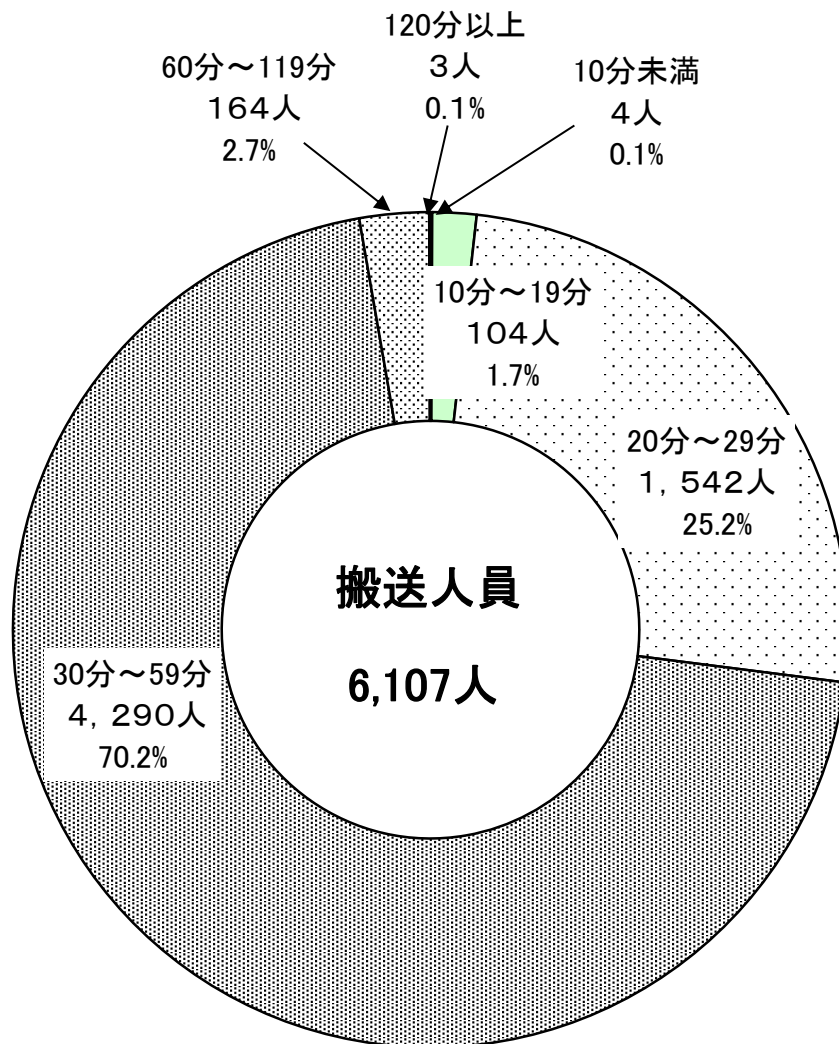


## 収容所要時間別搬送人員

搬送人員 6,107 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）をみると、第 7 図のとおりである。

搬送人員の 1.8% が 20 分未満で病院に収容され、27.0% が 30 分未満で収容されている。しかし、30 分以上は 73.0% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第 7 図 収容所要時間別搬送人員の状況



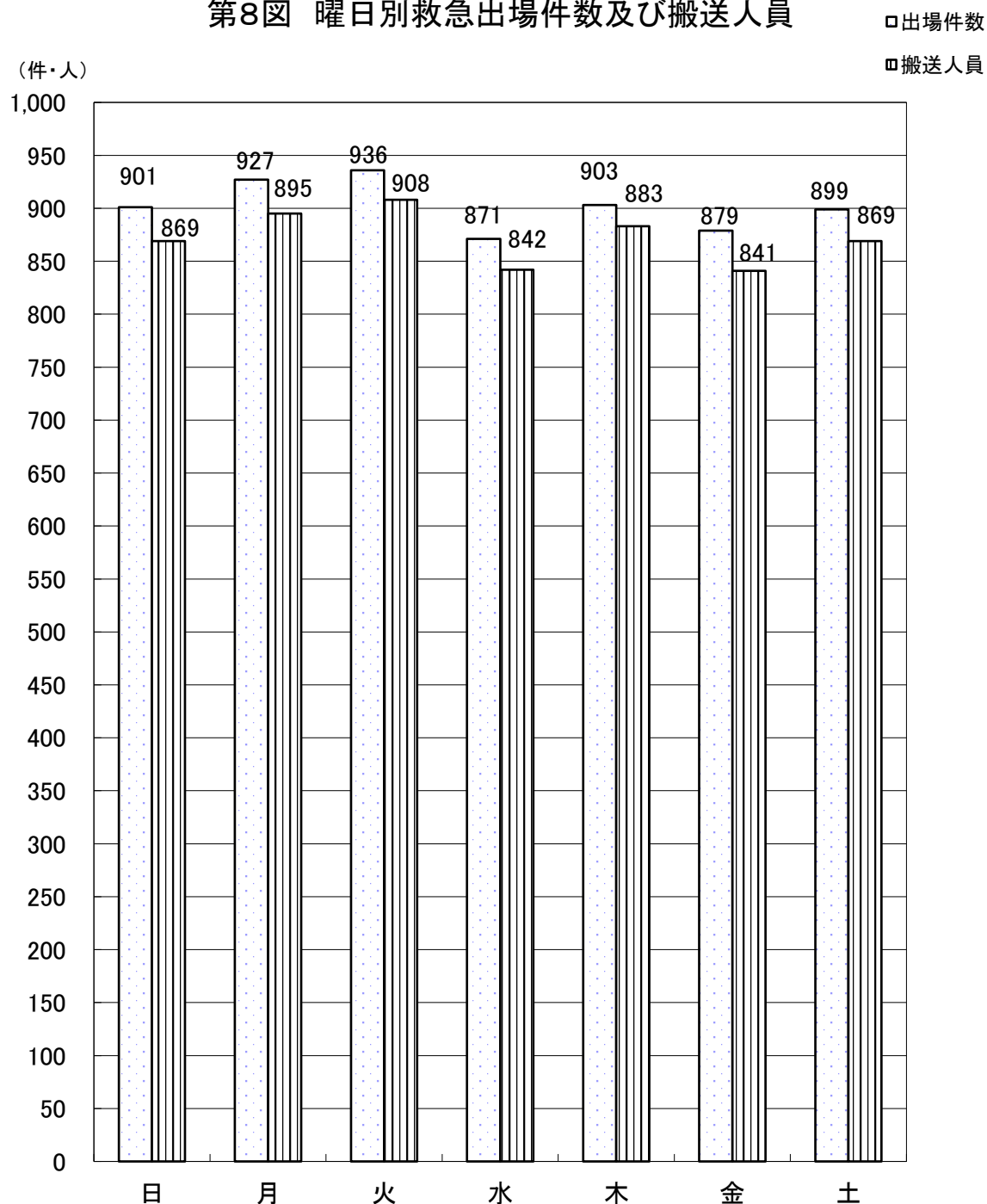
## 曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数6,316件及び搬送人員6,107人を曜日別にみると、第8図のとおりである。

出場件数は、火曜日が936件と最も多く、次いで月曜日、木曜日の順となっており、最も少ないのは水曜日の871件となっている。

搬送人員は、火曜日が908人と最も多く、次いで月曜日、木曜日の順となっており、最も少ないのは金曜日の841人となっている。

第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員





# 救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は71件で、前年と比較すると11件減少している。

救助出動件数を事故種別でみると、その他の事故が36件（50.7%）で最も多く、次いで交通事故が26件（36.7%）となっている。

救助活動件数は39件であり、この活動により34人を救出している。

救出人員数を事故種別でみると、その他の事故と交通事故が各14人で全体の82.4%を占めている。

**第1表 救助出動及び活動状況**

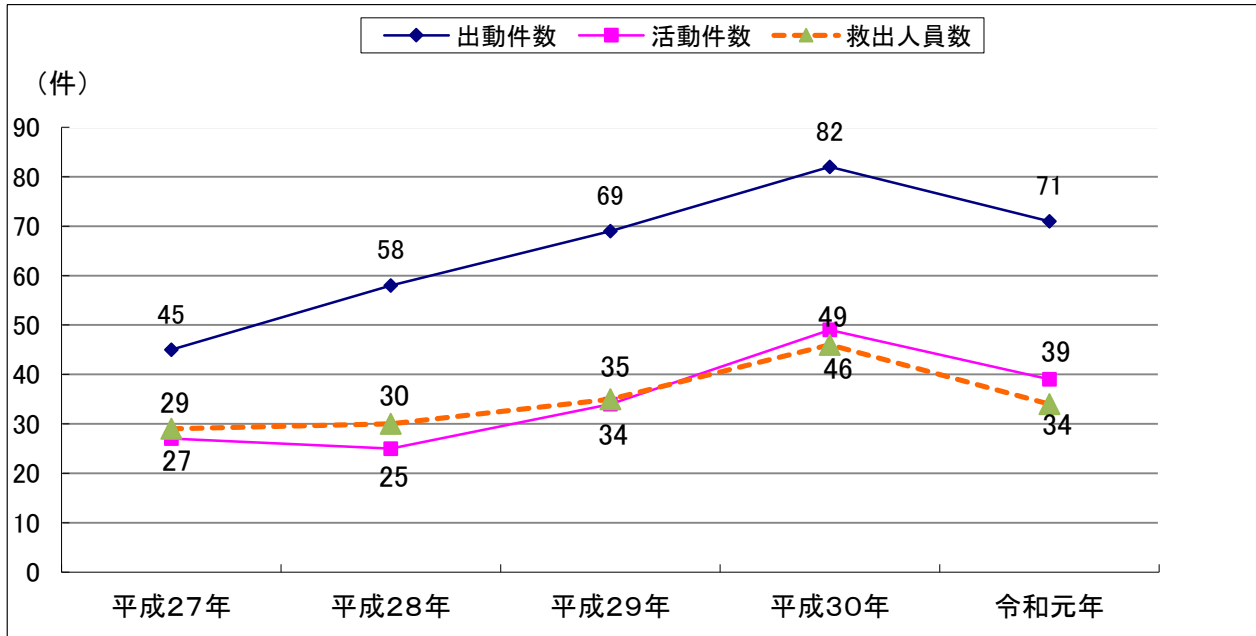
署別		事故種別		火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
		出動件数	活動件数									
本署	出動件数	平成30年		0	11	0	1	1	0	0	20	33
		令和元年		3	7	0	1	1	0	0	13	25
	活動件数	平成30年		0	8	0	0	0	0	0	15	23
		令和元年		3	4	0	1	1	0	0	6	15
	救出人員	平成30年		0	9	0	0	0	0	0	14	23
		令和元年		1	4	0	1	1	0	0	6	13
稲沢東分署	出動件数	平成30年		1	7	0	1	1	0	0	21	31
		令和元年		1	8	0	1	0	1	0	15	26
	活動件数	平成30年		1	2	0	1	1	0	0	10	15
		令和元年		1	4	0	1	0	1	0	7	14
	救出人員	平成30年		0	2	0	1	1	0	0	10	14
		令和元年		1	4	0	1	0	1	0	5	12
祖父江分署	出動件数	平成30年		0	0	1	1	0	0	0	4	6
		令和元年		0	6	0	0	0	0	0	4	10
	活動件数	平成30年		0	0	1	0	0	0	0	2	3
		令和元年		0	5	0	0	0	0	0	2	7
	救出人員	平成30年		0	0	1	0	0	0	0	1	2
		令和元年		0	6	0	0	0	0	0	1	7
平和分署	出動件数	平成30年		2	5	1	0	0	0	0	4	12
		令和元年		0	5	1	0	0	0	0	4	10
	活動件数	平成30年		2	3	1	0	0	0	0	2	8
		令和元年		0	0	1	0	0	0	0	2	3
	救出人員	平成30年		1	3	1	0	0	0	0	2	7
		令和元年		0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	出動件数	平成30年		3	23	2	3	2	0	0	49	82
		比率 (%)		3.7	28.0	2.4	3.7	2.4	0	0	59.8	100
		令和元年		4	26	1	2	1	1	0	36	71
		比率 (%)		5.6	36.7	1.4	2.8	1.4	1.4	0	50.7	100
	活動件数	平成30年		3	13	2	1	1	0	0	29	49
		令和元年		4	13	1	2	1	1	0	17	39
	救出人員	平成30年		1	14	2	1	1	0	0	27	46
		令和元年		2	14	0	2	1	1	0	14	34

過去5年間の救助出動件数をみると、第1図のとおり平成30年の82件が最も多く、次いで令和元年の71件となっている。

救助活動件数をみると、平成30年の49件が最も多く、次いで令和元年の39件となっている。

救出人員数をみると、平成30年の46人が最も多く、次いで平成29年の35人となっている。

**第1図 過去5年間の救助出動等の推移**



救助出動した71件を署別でみると、第2図のとおり稲沢東分署が26件（37%）と最も多く、次いで本署が25件（35%）となっている。

**第2図 署別出動状況**

